

自己実現への道

第 21 回 - 運命を変える秘訣 (その 11)

- 人生で成功する秘訣

驚くほど筋書き通りの人生になる…

目標をイメージすることは、自分に対して約束手形を出すようなもの。たとえ冗談半分であろうとも無意識はそれを聞き取って反応する。

あるうだつの上がない作家がいた。小さな新聞社の見習記者をしていたころ、父親が言った。

「一体お前は自分の選んだ職業でひとかどのものになれると思っているのか」と。

父親に頼りなく思われてちょっと腹が立った彼は、冗談半分に言った。

「お父さんから見れば私はいっこうに出世しないように思えるでしょうが、私は弱冠 21 歳。まだ先は長いのです。それに私は自分の進む方向も目標も心得ています。30 歳で一流記者、40 歳で一流の編集長、50 で優れた短編をものにし、60 で一流の作家になり、70 で偉いおじいさん、80 でかわいい女性達のあこがれの的、90 で大いに惜しまれてこの世を去るつもりでいます」と。

父親は大いに興味をそそられたそうだが、驚くべき事は、びっくりするほど筋書き通りになったということであった。

彼は、実現できる望みをもって、そうなるように思い描いた。自分の意識の羅針盤を、夢を実現する方向に動かしたわけだ。だから、そこへ行き着くことができたのだ。

この作家は、本能的に自分の発展の各段階にタイム・リミットをもうけている。そうなることを自分自身に言い聞かせることで、彼の無意識はまったくそうなるように彼をし向けた。無意識は強力な確固たるセルフ・イメージには必ず従う。

目標の設定が成功を目指す上での第一歩であるなら、次の段階で必要なのは信念 - いや、必ず成し遂げられるという確信である。自分で決めた目標は絶対実現するという揺るがぬイメージが不可欠だ。このイメージがリアルであるほど、達成の可能性も大きくなる。

優秀なスポーツ選手は必ずといってよいほど、このことを心得ている。

走り高跳びの選手なら、自分がバーをクリアするところをイメージする。具体的にリアルに。

そういう光景を思い描く、そのイメージが強い程、自信が高まり、実現の可能性もふくらむ。

そして・・・「できない」という言葉を抹殺することが大切である。

「やればできる」「やれると思えばできる」

「出来ない」という言葉を抹殺し、あなたは何だってできる。やれると思えば何だってできる。

ただそれだけのことなのだが・・・それがあなたの無意識を支配し、成功へと導いてくれるのだ。

<MIKO>

📖 参考文献：人間向上の知恵 ノーマンピール（謝世輝訳）三笠書房

